

# 青年部会広報 絆 - KIZUNA - No.021 2015.4

(一社)群馬県トラック協会青年部会広報委員会 編集・発行

## ★ 副部会長より部会員のみなさまへ ★



皆様こんにちは、一般社団法人群馬県トラック協会青年部会副部会長の磯野哲也と申します。日頃より部会活動につきまして、ご理解とご協力を賜りこの場をお借りいたしましたして厚くお礼申し上げます。

さて、私たちの業界を取り巻く環境は依然厳しく、輸送原価の上昇や人手不足等によって難しい舵取りを課せられております。そのような状況だからこそ皆様と一緒に頑張って勉強や意見交換を通じ、交流を深め、佐藤稔也部会長が掲げた、青年部会活動のスローガン「挑戦・若者らしく大胆に繊細に」を少しでも現実に実行していけるように尽力してまいります。

最後になりますが、私たち青年部会員が強い絆を築ける場として活動していく所存でございますので、お力添えいただけますようお願い申し上げます。  
(副部会長 磯野哲也)

## ★ 広報委員長より部会員のみなさまへ ★



昨年度より広報委員長を仰せつかりました太田支部幹事の滝澤です。

広報委員会では、青年部会の活動内容やお知らせを中心に年4回掲載しております広報誌「絆」の発行やウェブページ等の担当をしています。ウェブページでは、過去の「絆」のバックナンバーや青年部会活動を随時掲載し、群馬県トラック協会ホームページ内で閲覧できますので是非ご覧下さい。

今年度より、新たな取組みとして、広報委員会を中心にインターネットを活用した危険・休憩場所等の情報提供サービスの準備を進めております。部会員の皆様より集めた情報を携帯端末（スマートフォン）やパソコンより簡単に閲覧でき、現場ですぐに活用できるサービスです。本年度10月から利用開始を目標に取り組んでおりますので、追加情報のある部会員は各支部幹事または、事務局に情報をお寄せ下さいますようお願いいたします。

広報委員会では、これからも部会員の方々に役立つ情報を発信できるように努力し、「仲間づくり」「情報交換の場」を創れるように企画してまいります。まだ参加されたことのない部会員の方は奮ってご参加下さいますようよろしくお願い申し上げます。  
(広報委員長 滝澤将司)

## ★ 平成26年度新春研修交流会を開催 ★

- 開催日 2月14日(土)
- 場 所 前橋さくらホテル
- 参加者 総勢65名(来賓4名・部会員58名・他3名)

平成26年度新春研修交流会が(一社)群馬県トラック協会の三浦会長様をはじめ、堀越副会長様、武井副会長様、石井専務理事様をご来賓にお招きし、盛大に開催されました。

第一部研修会では、平成26年度青年部会活動報告を部会員向けに総務、研修、広報の各委員会からプロジェクターを用いてわかりやすく報告がされました。

第二部研修会では、特別講演として「青年経営者が直面している課題について今後の展望を会長に訊く」と題し、三浦会長様に(公社)全日本トラック協会副会長として、また、(一社)群馬県トラック協会会長のお立場からお話いただきました。事前に部会員から集めた質問内容を基に青年経営者が悩んでいることについて、解決策等をわかりやすくお話いただき、大変参考になる講演となりました。

最後に三浦会長様、武井副会長様から青年部会の活動についてお褒めの言葉をいただくとともに、今後の活動も事故防止等に積極的に取り組み、ますます青年部会が活性化するようエールをいただきました。

(副副会長 堀越泰毅)



## ★ 平成26年度第3回(公社)全日本トラック協会青年部会全国代表者協議会に参加 ★

- 開催日 2月25日(水)
- 場 所 東京都トラック協会会議室
- 参加者 総勢55名(当県1名)

第3回(公社)全日本トラック協会青年部会全国代表者会議が、全国代表と次年度代表を含め55名が参加して開催されました。

笠原会長より開会の挨拶にて、参加者への御礼と今こそ私たち青年部会の結束を固めるべく、より多くの代表者と親睦を深めるようにとのお話がありました。

その後の研修会では、国土交通省自動車局貨物課長の菟川直也様に「トラック産業の活性化と健全化に向けた対応について」の題目でご講話いただきました。

昨今の燃料価格の下落は投機的な動きではなく、需給のバランスでもたらされた健全であるということ、また、平成26年度補正予算の燃料貯蔵庫向け5億円成立の経緯、改善基準告示順守違反、改正された処分基準など、様々な対策について解り易く丁寧に解説していただきました。

その後のブロック別業務報告、平成27年度事業計画の発表にて、次年度も全国大会1回、複数回の代表者会議の開催が決定されました。

第二部交流会、二次会と続き、全国の代表が垣根なく交流を深める事が出来ました。

(部会長 佐藤稔也)



## ★ 平成26年度(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会に参加 ★

- 開催日 2月26日(木)
- 場 所 京王プラザホテル
- 参加者 総勢655名(当県14名・事務局2名)

平成26年度(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会が京王プラザホテルにおいて、盛大に開催されました。

冒頭の笠原部会長の開会挨拶の後、(公社)全日本トラック協会星野会長から「研修会において研鑽を積んでいただき、全国の青年経営者が交流を密にして、業界の更なる発展のために今後も積極的に活動していただきたい。」との激励のご挨拶がありました。

続いて、自由民主党青年局長の木原稔衆議院議員様、国土交通省自動車局菟川直也貨物課長様が来賓挨拶を行い、木原局長は「青年部会の皆様と継続して交流を図りたい」、菟川貨物課長は「業界発展のために青年経営者の皆様に期待したい」と激励を兼ねたご挨拶を頂戴しました。

研修会では、第一部講演として、早稲田大学名誉教授 杉山雅洋様に「トラック運送事業発展のために～その源泉は青年経営者の創意と工夫～」をテーマに講演いただきました。

杉山名誉教授は、「トラック運送業界の課題克服に向けての青年経営者の果たすべき役割」、「青年経営者の顕彰制度について」、「高速道路事業とトラック運送事業」の3つについて、例を上げてわかりやすく説明していただきました。

第二部講演では、希望が丘高等学校自動車科長の安部幹也様に「自動車教育による人材育成～SPH指定校を目指して～」をテーマに講演していただきました。



希望が丘高校は、自動車科のカリキュラムに「物流」の授業を取り入れているほか、自動車整備士や運行管理者等の資格取得指導を行っています。

現在、若年労働者等の人材確保が課題であるトラック運送業界において、即戦力を輩出する高校として注目を集めており、同校が日本の高校初の指定を目指す「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）」事業や高校生の採用活動等について説明いただきました。

最後に青年部会平成26年度活動報告を行い、近畿ブロック代表の平島竜二副部会長による閉会挨拶で研修会が盛会裏に終了しました。  
(佐波伊勢崎支部幹事 橋本 力)



### ❖ 前橋支部青年部会研修会を開催 ❖

- 開催日 3月8日(日)
- 場 所 徳田屋旅館
- 参加者 部会員15名(他1名)

平成26年度群馬県トラック協会前橋支部青年部会研修会を開催いたしました。

当日は、年度末で忙しい中、多くの部会員にご参加いただき、「運行管理業務のポイントと青年経営者の意見交換会」をテーマに適正化事業実施機関の武井脩平指導員を招き研修会を行いました。

運行管理者業務のポイントとして、運行管理者が間違って解釈していることや、点呼業務時のポイントなどのお話を重点にさせていただきました。

その後の意見交換会では、参加事業者の実例を基にした話で活発な意見交換が交わされ、私たち青年経営者にとって勉強不足だったことや、普段なかなか聞けない話などを聞く事ができ、大変良い研修会だったと思います。

しかし、もっと聞きたい事や意見交換に時間を費やしたかったのですが、時間の都合もあり、少し消化不良気味でしたので、次の機会にまたこのような研修会を開催したいと思います。

今回は、少ない時間の中で参加者全員が、「運行管理業務」について今後どのようにすべきかと改めて考える事ができたと思います。  
(前橋支部部会員 久保圭一)



## 🌟 前橋支部青年部会交通安全教室を開催 🌟

- 開催日 3月12日(木)
- 場 所 学校法人中村学園 朝日が丘幼稚園
- 参加者 部会員11名

当支部青年部会では、学校法人中村学園 朝日が丘幼稚園にて「とらっくからしるこうつうあんぜん」と題して、交通安全教室を開催いたしました。

本年度で3回目となる交通安全教室も映像と車両を使用しての説明、乗車体験を行いました。普段使用している車両の紹介やトラックと乗用車の違いの説明し、トラックと交通安全に関連したクイズを行うと、参加した園児たちは皆、真剣な表情で積極的に学んでくれました。

また、キャリアカーを使用しての積載作業の説明や、実際に運転席に乗車しての死角体験、さらにウイング車の荷台を開放して園児全員に体験していただきました。普段見たり体験できない作業に食い入るように見つめる眼差しと、大喜びして笑顔で楽しむ姿がとても印象的でした。

今回は、初めての試みとして、前橋市教育委員会、報道3社のご参加をいただき、業界のPR活動を行いました。参加された皆様から「子供たちにとって、とても良い体験だ。とてもわかりやすく楽しい教室でした。」と評価をいただきました。また、報道3社にご協力いただき、ニュースや新聞により、一般の方々にPRでき、活気のある活動となりました。

(前橋支部部会員 田中大樹)



## 🌟 北毛三支部合同 第19回動くトラック絵画コンクール受賞作品展示会 🌟

- 開催日 12月16日(金)～1月14日(金)
- 場 所 道の駅「こもち」
- 参加者 部会員13名

本年度も北毛三支部合同受賞作品展示会を渋川市「道の駅こもち」無料休憩所をお借りし開催しました。

期間中は作品展示会の他にアンケートを同時に取らせていただきました。

その内容を見ると、子供たちが描いた作品への評価が非常に高く、子供たちへの心暖かいメッセージや子供たちが交通事故に合わないようという願いのメッセージも多くありました。

そんな中、立ち寄って見られた方が殆どで、もう少しPRしたほうが良いという意見や、私たちの業界が社会に貢献している業界であるという意見もある中で、やはりどうしても「夜間にスピードをだす」、「煽ってくる」という意見もいただきました。

私たちトラック業界、また青年部会は、事故を起こさない不断の努力を行うとともに、社会により一層の良い業界イメージを持っていただけるように、この事業を通して作品展示会のPR・業界のイメージ向上、そして、何よりも事故防止に向けた活動を今後もしていければと思いました。

(渋川支部幹事 山田次郎)



## ■ 平成27年度上半期活動スケジュール ■

4月 1日(水)	第20回働くトラック絵画コンクール募集開始	6/27 応募締切
5月 24日(日)	第12回群馬県トラックの森づくり事業	前橋市嶺公園内
7月 17日(金)	第20回働くトラック絵画コンクール作品選考会	群馬県トラック総合会館
8月 22日(土)	第41回ホリデーインまえばし準備日	前橋市敷島公園
8月 23日(日)	第41回ホリデーインまえばし・第20回働くトラック絵画展示会・表彰式	前橋市敷島公園
※上記の他に青年経営者養成セミナーを予定しています。		

## ■ 新規加入部会員 平成27年4月現在171名 ■



### ◆ 田村智也（大間々支部 上電通運棟）

まだ運送会社に就職して、2年ほどでいろいろと勉強中の身です。  
がんばりますので、よろしくお願いいたします。

### 新規加入部会員募集

群ト協青年部会では新規部会員を随時募集しています。  
青年経営者のための研修事業や交流事業、社会貢献事業等の活動を展開していますので、青年部会に興味のある方は、事務局または青年部会幹事までお気軽にご連絡下さい。  
みなさまのご参加をお待ちしています。  
※入会申込書は青年部会ウェブページよりダウンロード出来ます。

事務局（武井・永井）TEL027-261-0244



お勧めの一冊

成功への情熱 稲盛和夫著



小さなベンチャー企業だった京セラが如何にして日本を代表する企業になったのか、稲盛和夫氏の経営と人間としての基本的な学びをわかり易く解説している本です。

また、誠実に、勉強に、真摯に生きることの大切さを説く厳しい姿勢に感動します。

これからの時代、なにがあるかわかりませんが、この本で何か目覚めるものがあるかもしれません。素晴らしい内容ですので、もし機会が御座いましたら読んでみてください。

（館林支部幹事 本間美儀男）

稲盛和夫：1932年、鹿児島生まれ。鹿児島大学工学部卒業。59年、京セラセラミック株式会社（現・京セラ）を設立。社長、会長を経て、97年より名誉会長を務める。また、84年に第二電電（現・KDDI）を設立、会長に就任。2001年より最高顧問。一方、84年に稲盛財団を設立すると同時に「京都賞」を創設。他に若手経営者が集まる経営塾「稲盛塾」の塾長として、経営者の育成に心血を注ぐ

## ■ 群ト協青年部会ウェブページのご案内 ■

### 群ト協青年部会ウェブページをご覧ください

青年部会では、群ト協ホームページ内に青年部会ウェブページを公開しています。活動予定や活動状況等、様々な情報を適宜更新して参りますのでご活用願います。

なお、ウェブページに関するご意見、アイデア等は青年部会事務局へご連絡下さい。

▶ 群ト協青年部会ホームページ <http://www.gta.or.jp/seinen/index.html>



## ■ 群ト協青年部会危険・休憩箇所情報の提供のご案内 ■

### 危険・休憩箇所情報提供のお願い

(一社)群馬県トラック協会青年部会では、ドライバーの危険に対する「認識の向上、事故件数の減少、違法な連続運転の抑止」を防止するためにインターネットの地図アプリを利用した情報サービス提供を目的に各社の危険・休憩箇所情報を収集しております。

県内各所の多くの危険・休憩箇所情報が必要です。情報提供いただける方は、下記情報を支部青年部会幹事または事務局 ([gta@gta.or.jp](mailto:gta@gta.or.jp)) まで電子データでの提供をお願いいたします。

#### 【情報提供内容】

- 1 危険・休憩箇所の名称 (例 危険箇所…国道17号線〇〇交差点)  
(例 休憩箇所…国道50号野中町トラック協会前休憩所)
- 2 危険・休憩箇所の情報 (例 危険理由…矢印信号の間が短い、道幅が狭い、見通しが悪い)  
(例 休憩箇所…24時間休憩可能、シャワー完備、食堂あり)
- 3 危険・休憩箇所の写真
- 4 危険・休憩箇所の地図

情報提供をお待ちしております！



# 第20回 働くトラックの絵 コンクール作品募集



**趣 旨** 未来を背負って立つ小学生を対象としてトラックに関する絵画を募集することにより、愛され親しまれるトラックのイメージを持っていただくことを目的としています。  
また、交通事故ゼロ・地球環境保全・東日本大震災復興支援・業界のイメージ向上への思いから、交通安全・環境保全標語や被災地・業界応援メッセージも募集することにより、交通安全推進・環境保全活動・被災地支援活動・業界のイメージアップ活動に活用していきます。

**応募資格** 群馬県内の小学生

**テ ー マ** 「働くトラック、未来のトラック」の絵を描こう！自分で考えた「交通安全標語」・「環境保全標語」・「被災地への応援メッセージ」・「業界への応援メッセージ」のどれか1つを入れて下さい。  
※「標語」か「メッセージ」のないものは、審査対象になりません。

**応募方法** ① 画用紙は四つ切りサイズ。(縦 380mm × 横 540mm)  
② 画用紙の裏に、住所、氏名(漢字・ふりがな)、電話番号、学校名、学年を必ず記入して下さい。  
※ご記入された個人情報は当コンクール以外の目的で使用致しません。  
なお、入賞者については、展示の際に学年・氏名(ふりがな)のみ表示します。  
③ 応募は一人一作品に限ります。作品は返却できません。  
④ 作品は各支部担当者に連絡しお渡し下さい。

**応募締切** 平成27年6月26日(金)迄

**審 査** 主催者が審査のうえ各賞(最優秀賞・選考員特別賞・優秀賞・入選)を決定します。入賞者には賞状・副賞を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を進呈します。

**展示・表彰** 第41回ホリデーインまえばし(8/23日(日)前橋市敷島公園)で展示会と表彰式を開催予定。

**主 催** 一般社団法人群馬県トラック協会青年部会 (問い合わせ先:事務局 TEL027-261-0244)



第19回(平成26年度)最優秀賞作品



展示会(第40回ホリデーインまえばし)



表彰式(第40回ホリデーインまえばし)